



豊里

着ぐるみなどで春の交通安全 4月6日

交通安全運動「豊里地区合同出発式」は、JAみやぎ登米豊里支店前で行われ、交通安全協会豊里支部や豊里町交通安全母の会など、関係者50人が参加しました。

出発式では、交通事故のない安全・安心なまちづくりを宣言し、それぞれ街頭指導に出発しました。

当日は、パンダ・サル・トラの着ぐるみを着て街頭指導したり、同交通安全母の会手作りの折り鶴短冊をドライバーに手渡したりしながら、交通安全を呼びかけました。

死亡事故ゼロ2500日達成する 4月12日

中津山コミュニティ運営協議会では、交通死亡事故ゼロ2500日を達成し、米山公民館で、市交通安全対策協議会長および宮城県佐沼警察署長から褒状が贈られました。

褒状を受領した中津山コミュニティ推進協議会の沼田一夫会長は「地域から悲惨な死亡事故を二度と起こさないという住民の皆さんや関係団体、機関の思いが結果に結びついた。今後も記録を伸ばせるよう呼びかけていきたい」と決意を新たにしました。



米山



迫

新田駅前自治会 40周年を祝う 4月17日

新田駅前自治会（石川法夫会長）創立40周年記念式典は新田駅前生活センターで開催され、地区住民ら約100人が出席しました。この席上で、自治会活動に尽力した住民29人に感謝状が贈られました。

石川会長は「安心して暮らせるこの地区を、他の模範となるようにしていきたい」とあいさつ。河北新報社登米支局の本多秀行支局長を講師に迎え「守り勝つ極意」をテーマに記念講演。出席者たちは熱心に聞き入っていました。



石越

交通死亡事故ゼロを目指して 4月12日

交通安全関係団体による街頭キャンペーン「無事かえる運動」は、第14行政区の口梨付近の県道で行われました。これは、春の交通安全運動の一環として実施しています。

当日は長根駐在所長らの協力の下、交通安全協会石越支部や石越地区ライオンズクラブの皆さんが参加しました。

参加者は、カエルのストラップ「ぶじかえる君」などを、ドライバーに笑顔で配り、交通ルールの順守や正しい交通マナーの実践を呼びかけました。

「日根牛大くり」苗木の引渡式 4月21日

県天然記念物に指定されている「日根牛の大くり」の引渡式は、登米総合支所で開催されました。引渡式では、森林総合研究所林木育種センター東北育種場長から、北上川左岸整備促進同盟会の小白幸記会長および登米総合支所長に、苗木10本が手渡されました。

日根牛の大くりは、北上川堤防改修工事で枯死する恐れがあることから、樹木のクローン増殖を手がける同育種場の協力により育成したものです。



登米

安全・安心の拠点施設が開所 4月27日

老朽化により、新築工事を進めていた佐沼署高石駐在所が完成し、開所式は同駐在所敷地内で開催されました。

開所式には、笹原佐沼警察署長や地域の交通・防犯関係者など約30人が出席し、地域の安全・安心を守る駐在所の開所を祝いました。

庁舎は、1982年の建設から30年以上が経過し、昨年11月から敷地内で新築工事が始まり、今後、地域安全の拠点として、より一層の役割の発揮が期待されます。



南方



東和

花苗を渡し、交通安全呼びかけ 4月6日

春の交通安全キャンペーン「レッド作戦」は、東和総合支所前の国道346号線で実施されました。

レッド作戦は、ドライバーに和やかな気持ちで運転してもらい、交通事故を防止することを目的に実施。当日は、関係者約40人が参加し、東和地区安全協会から提供された300個のバンジーの花苗などを配布しました。

参加者は、ドライバーに「安全運転をお願いします」と呼びかけながら、花苗などを手渡しました。



津山

つやま打囃子保存会の春祭り 4月17日

つやま打囃子春祭りは柳津地区で開かれました。

この祭りは、つやま打囃子保存会が同地区にある麻崎神社の春大祭に合わせ、地域の交通安全や無病息災を祈願して毎年開催しています。

当日は、ねじりはち巻きに法被姿のかわいらしい子どもたちが、笛や太鼓で軽快なリズムを響かせながら、華やかな山車とともに地区内を練り歩きました。子どもたちの見事な演奏に、沿道から大きな拍手と声援が送られました。

子の成長願い、こいのぼり掲揚 4月7日～5月10日

浅水コミュニティ運営協議会（高橋敏允会長）は、浅水ふれあいセンターの敷地内にこいのぼりを掲げました。

この事業は、地域の子もたちが元気にたくましく成長することを願って、平成6年から毎年実施しています。今では夏を告げる風物詩となりました。

22年目を迎える今年も、市内外の人たちから寄贈された色とりどりのこいのぼりが、子どもたちの健やかな成長を見守るように元気に泳いでいました。



中田